

牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直しに係る食品健康影響評価（健康と畜牛の BSE 検査の廃止）についての意見・情報の募集について

一般社団法人北海道消費者協会

北海道札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 道庁別館西棟

011-221-4217

(意見)

プリオン評価書(案)について、消費者の理解を深めるために次のことを要望します。

- 非定型 BSE が十分に解明されていないことは消費者にとって不安であり、関心の強い問題です。評価書(案)によると、非定型 BSE の発生状況に基づいた区分では、健康と畜牛で 33.6%となっています。今回、健康と畜牛での BSE 検査の廃止が検討されていますが、この場合、検査数が減るため非定型 BSE を漏れなく把握できるか疑問です。ついては、変更後も十分に検出できる根拠を明示していただきたい。
- また、高リスク牛だけの BSE 検査に変更になった場合、検査数が減ることにより非定型 BSE の研究に支障が生じないか明示していただきたい。また今後、どのような方法で、どのような研究をしていくのかも合わせて示していただきたい。
- 評価(案)では、飼料規制が確実に実行されていることが前提となっていますが、故意または事故などにより飼料規制に不備が生じた場合、高リスク牛のみを対象とした検査で問題がないか不安です。このような事態を想定した場合のリスク評価も示していただきたい。

牛海綿状脳症(BSE)国内対策の見直しに対して次のことを要望します。

- 先の見直しから 3 年近くが経過していますが、BSE 国内対策が消費者に十分に理解されているとは言えません。非定型 BSE は未知の部分も多く、不安があります。従って、健康と畜牛での BSE 検査の廃止は性急に行わず、BSE 国内対策ロードマップを示したうえ、消費者の理解を図りつつ進めていただきたい。